

広島県看護連盟通信

一粒のちから

HITOTSUBU NO TIKARA

第158号

令和3年1月31日発行

会員数
(2020年度)
6,617名

CONTENTS

- 新年のごあいさつ……………P1
日本看護連盟会長ご挨拶……………P2
新年のメッセージ(国会議員)……………P3
看護連盟ポスター
【安心して働けるように「政治の力は頼もしい」】
……………P4
看護連盟ポスター
【届けよう看護の声を!私たちの未来へ】……………P5
支部探訪(広島南支部)会員交流会
「広報委員会ってなにしてるの?」……………P6
「私のとっておき」……………P7



新年のご挨拶

広島県看護連盟 会長 板谷 美智子



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、昨年は想像だにできなかった新型コロナウイルス感染症の発生により、社会生活の根幹が揺らぎ、未だ世界中がその打撃の中にあります。我が国においても医療現場は経験したことのない医療崩壊の危機的状況にありました。その中にあっても患者の命を守り、支える看護の力は高く評価されています。現場の皆さまのご労苦に心より敬意を表するものです。

今なお、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、感染拡大の長期化が危ぶまれています。ご承知のとおり、看護連盟の役割は現場の課題を解決するために活動する政治団体です。困難を極める現場の問題を改善するために、日本看護連盟と広島県看護連盟は緊密に連携し要望活動をしています。広島県知事・県議会議長に危険手当の要望を行い、広島県は全国に先駆け予算化をしていただきました。関係各位に心より感謝いたします。また、慰労金の支給もなされました。コロナ禍での活動を通して政治の力を改めて実感しています。この力は何より日頃の皆さまの活動によるものです。混沌としたなかにはありますが、看護の灯を高く掲げ、新型コロナウイルス感染症に負けることなく、力を合わせて取り組んでいきましょう。

フレーフレーナース!!フレーフレーナース!!

公益社団法人
広島県看護協会 会長 山本 恭子



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまには、健やかに令和3年の初春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染の蔓延がより深刻化、長期化する中で、地域の医療体制への影響が深刻さを増しており、医療現場は緊迫した状況の中、最前線でご活躍の皆さまに敬意を表します。

日頃から、広島県看護協会の活動にご支援・ご協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。

さて、国においては、「新たな日常」に向けた社会保障の構築が進められています。

いつの時代にあっても、人々の健康を看護する看護職能団体として、看護が社会により開かれた専門職としての位置づけを確保するためにも、政治の力が必要です。看護協会と看護連盟は、その役割を分担しながら協働し、連携を一層強化して、国政へ私たちの声を届けていきましょう。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

日本看護連盟会長 大島 敏子



昨年は、武漢から発生したCOVID-19の感染で臨床の皆様にとって、病態が分からず治療法も治療薬もないまま看護しなければならなかったときは、不安な日々をおすごしだったでしょう。その後、病態が少しずつ分かり、発熱や風邪症状の出現前に感染が始まると言う、今迄の医療では体験のない病態が判明しました。このことが判明しても、臨床で働く看護職は、揺れ動きながら、ご自身・ご家族・職場を守り、使命感をもって看護する日々であったと推察します。そんな皆様に、心からの敬意と感謝を申し上げます。顧みると看護職とそれに関わる全ての人々が、それぞれの立場で最善を尽くしてきた1年でありました。それ故、世間では、医療関係者への感謝を「Light it Blue」や「Friday Ovation」そして、広島では路面電車に感謝の言葉をラッピングして走りました。これは、広島の看護職の看護実践の成果です。本当にありがとうございました。戦いは終わったわけではありませんが、もう一息です。国民と共にニューノーマルな生活を守り、臨床の看護師の仕事を増やさない行動をとって参りましょう。

日本看護連盟の昨年を振り返ると、「見える活動、行動する会員、確かな組織づくり」が重点方針でした。少子・高齢社会においては、施設から地域へ切れ目のない医療が重要で、地域包括ケアシステム実現の時代に合わせ、スローガンを見直しました。会員に募集し、ご応募頂きました中から専門家を交えて決めさせて頂きましたのは、「届けよう看護の声を私たちの未来に」です。

新たなスローガンのPR動画やポスターを、2種作成し全国に配信し浸透を図ってゆきます。令和の時代に連盟のあるべき姿と新たな取り組みを、次世代の看護職に伝え残してゆきたいと考えます。

またもう一つの課題は、紙面での広報ツールを見直し、スピード感のある情報発信を考え、冊子のアンフィニは年3回出版し、ウェブ版アンフィニでタイムリーな情報発信に努めて参ります。広島の会員の皆様にも、届いていきますでしょうか？

また、他県の活動からも学ぶブロック政策セミナーを看護協会長の確実な参加で開催すること、そして戦略会議の開催も各県ごとからブロックに拡大することでした。以上は実現できましたが、第26回参議院選挙の候補予定者の推薦については、委員会規約を見直し、今年の総会でご承認いただく予定です。

本年の成果として特筆したいのが、慰労金と危険手当（都道府県により差があります）のことで。COVID-19の感染対応をした人だけではなく、総ての看護職に支給されました。その経緯は、日本看護協会と日本看護連盟が政府と自民党に役割分担して同一文書で、働きかけることでした。この体験から、協会の政策実現に連盟がどうかかわるか？の道筋が明らかになりました。

丑年の今年は、どっしりと大地に足をつけて、協会が連盟をつくってきた60年前に想いを馳せ、公益法人が政治団体を創設しなければならなかった社会的背景や意味から、日本看護連盟の存在価値を考える時です。「看護は一つ」の合言葉が生まれた根拠は？これを証明する看護連盟の歩みは？還暦と言う年月を重ねてきた時だからこそ、原点に立ち返り考えて参りましょう。私たちは、日本看護協会の重点方策について、都道府県選出の国会議員に連盟役員が説明に行き、確実に理解をしてもらい、国会に送り出した4人の看護系国会議員と連携し、議案に賛成してもらうという地道な努力を致しましょう。このように、連盟活動を原点回帰の1年にしたく、本年も宜しくお願い致します。



衆議院議員
あべ 俊子

新年明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶させていただきます。

広島県看護連盟の皆様には、昨年より、新型コロナウイルスとの闘いの最前線に立ち、日本国民のいのち・くらしをお守りいただいていることに、心より感謝申し上げます。

ご自身の感染リスクがある中、患者最優先で業務されている日々の積み重ねによって、医療崩壊を起こすことなく、新しい年を迎えることができました。昨年は、こうした皆さまのご尽力に対し、十分でないながらも、慰労金や助成金の形で、ご支援させていただきたく、関係各所との協議に奔走した一年でございました。

新型コロナウイルスとの闘いは長期戦となり、新しい社会を模索している最中でございます。臨床、教育、行政の現場よりご意見いただき、With コロナ時代を皆さまと進んで参りたいと存じます。



自民党政務調査会副会長
参議院議員
たかがい(高階) 恵美子

謹んで初春のお慶びを申し上げます。広島県看護連盟の皆様並びにご家族の皆様におかれては、昨年来の感染症有事への対応

等、公私ともに大変なご負担をおかけしております。厳しい自制と自粛を続けながら、いのちの最前線で国民の生命と暮らしをお守りいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨秋より政調副会長として、主に厚生労働及び文教科学スポーツ分野の政策を担当するとともに、新型コロナ対策本部副本部長として現下の感染症有事対策とガバナンス態勢の構築に携わり、また行政改革推進本部役員として菅政権が進める規制緩和とデジタル化推進に関する与党の政策提言とりまとめに関わらせていただいております。人々に幸せを運ぶ看護職の笑顔を守り、一人ひとりが十分に役割を発揮できる環境を実現すべく、本年も鋭意努力して参ります。

皆様にとって、いのち輝く健やかな年でありますようご祈念申し上げます。



参議院議員
石田 まさひろ

広島県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。2021年がすばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの蔓延により、私達看護職は医療介護の現場ではウイルスと、そして家庭をはじめプライベートな場所でも日々不安と戦ってきました。現場から多くの声をいただき、課題を解決すべく活動を続けた1年でもありました。その中で看護職においては慰労金が支給されるなど、以前よりも看護職自身、そして専門性にも注目が集まるようになりました。病院の経営不振などから処遇が悪化している方もいる中、看護職全体の処遇改善にさらに力をいれていきます。

また昨年9月に、参議院において厚生労働委員会筆頭理事と参議院自民党国会対策委員会の副委員長を拝命しました。気を引き締めて責務を全うしていきます。

私の政治信念は「現場」とともにあります。看護職が「今日も良い看護ができた!」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力してまいります。

今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



衆議院議員
木村 やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

このたび自民党副幹事長を拝命しました。菅総裁・二階幹事長をお

支えてまいります。

第203回臨時国会は、1カ月余りの短期間でしたが、厚生労働委員会では予防接種法改正などが成立。私も、厚労委員会と消費者問題に関する特別委員会でも質問、総務委員会では郵便法改正案の賛成討論などをいたしました。

第2次補正予算では、慰労金として看護職への直接手当が実現しました。これは看護界史上なかったことです。これを特例にせず、超少子高齢社会の医療提供体制のキーパーソンである看護職のモチベーションの維持のためにも、看護の専門性が正しく評価されるよう、引き続き発信してまいります。

これからも、看護職が疲弊せず生き生きと働き続けられる環境づくりに、看護連盟の皆さまとともに、現場の声を丁寧にかがいがいながら、力を尽くしてまいります。

コロナを機に、便利になったと実感できる日本へ。

看護師・保健師出身の国会議員として、皆さまの健康を守りぬけるようがんばります。

安心して働けるように 「政治の力は頼もしい」

子育てしながら
安心して仕事がしたい



記録・書類が多すぎて
ベッドサイドに行けない

元気に長く
働きたい



代表議員に
国会でガンガン訴えてもらう



みんなが
ハッピーナースに
なれる！



日本看護連盟
会員モバイルサイト
『アンフィニ』
<https://infini.fan>



日本看護連盟の新しいスローガンです。

届けよう看護の声を！
私たちの未来へ

今年度より日本看護連盟が、『看護が抱える問題を本質から探り、政治を動かすことで、よりよい社会を作ること』を目標にポスターを作製しました。一人ひとりの声が力になります。



記録や書類が多すぎる!

自分に合った働き方ができないかな?



看護師の給料ってなぜ上がらない?



ゆとりのある生活をしたい



届けよう看護の声を! 私たちの未来へ



たまにはロングバカンスがほしい!

自信をもって現場で働きたい!



介護・子育てしながら安心して仕事がしたい



いくつになっても働き続けたい!



日本看護連盟は
看護が抱える問題を
本質から探り 政治を動かして
よりよい社会をつくります

目指すのは
看護の力で健康な社会
そのために必要なことは何なのか?

答えはいつも 現場にあります
あなたの声が力になります
心をひとつに いま届けよう

明るい看護の未来のために
明るい日本の未来のために

支部探訪

会員交流会

広島南支部では、「文字で変えよう自分と未来」と題して、筆跡診断士／ファイナンシャルプランナーの広田美穂先生を講師に、看護協会南支部と共催の交流会を令和2年9月5日に行いました。

今年はコロナウイルス対策のため各施設からの参加人数を少なくし、グループワークやスキミングで交流することは取りやめでの開催でした。

講演では筆跡の特徴別に性格や行動特徴の説明があり、筆跡改善をすることで性格や行動を変えることもできると、自分自身が積極的になった体験談の話もありました。

参加して自分の性格に苦笑したり、筆跡を変えてこうなろうと決意するなど、それぞれに楽しむこともでき貴重な体験ができました。

ヒロシマ平松病院 大内 純子

広島南支部



広報委員会ってなにしてるの？



前列(左より) 原田 美樹 中壽賀 弘 金藤 裕子 森下 美希 高橋 辰彰(敬称略)

連盟の組織図の中に、「広報委員会」があるのをご存じでしょうか？

広報委員会は①看護連盟の広報活動の推進 ②連盟機関紙「一粒のちから」の発行 ③そのほか会長が必要と認めた事項以上の3点に掲げる任務を遂行しています。(任務ってかっこいいですね!)委員会は委員4名で構成し、担当幹事が1名つきます。

仕事は主に機関紙「一粒のちから」の発行業務です。紙面の内容を決めて構成を確認し、印刷業者さんとレイアウトの相談を行って、発行前の文章の推敲、構成…一つの機関紙を発行するのに合計4回の委員会を行い、年3回発行しています。これからもみなさまに連盟の活動や内容をわかりやすくお届けするために、日々努力していきます。

人に伝えることや説明することが好きな方など、ぜひぜひ広報委員会で一緒に活動しましょう!詳しくは各施設のフロアリーダーや、広島県看護連盟事務局まで遠慮なくご連絡ください!

私のとっておき

～捨てられない宝物～



小学生の頃、少女まんが「なかよし」が好きで毎月発売されるのが楽しみでした。

付録も待ち遠しかったのですが、いがらしゆみこ先生が書く『キャンディ♥キャンディ』が大好きで主人公のキャンディがお気に入りでした。実はキャンディも看護師なんですよ(笑)。今の子どもたちは知らないでしょうが、出てくるキャラクターも個性にあふれ憧れの的でした。

その頃に親から買ってもらったキャンディ♥キャンディのオルゴール。今でもネジを回せば、主題歌のメロディが流れてきます。他のおもちゃは捨ててしまっどこへやら…。

ですが、メロディを聴いていると元気になれるこのオルゴールだけは捨てられず、今でも大切な宝物です。

廿日市支部 佐伯中央病院 井藤 典子

皆様に愛されて、東洋羽毛は59年



クリーニング・
リフォーム、下取り
承っております。
お気軽にお問い合わせ
ください。



東洋羽毛中四国販売(株) 広島営業所

〒731-0113 広島市安佐南区西原1-12-12

0120-828-226

編集後記



新型コロナウイルスの感染拡大も留まるところを知らず、インフルエンザの季節もやってきました。インフルエンザワクチンも接種しましたが(相変わらず痛い!)、はやく新型コロナウイルスのワクチンや治療薬が完成することを切に願っています。

寒さも一段と厳しさを増す中、様々な上気道の症状が出てきて、「もしかしてインフルエンザ? コロナ?」と疑心暗鬼になりそうです。しかし、私たちは医療者です。正しい知識を持って対応し、周囲を安心させることができる、そんな存在でありたいですね。

(広報委員一同)